

2018 年 8 月 4 日（土）～6 日（月）

霊峰白山（2702m）登山

（五箇山、白川郷、平泉寺白山神社散策）

白山は泰澄^{たいちょう}大師が 717 年に開いたという信仰の山で、日本三霊山、三名山に数えられているそうです。高山植物の宝庫でもあり、「ハクサン」の名の付いた花々の多さは良く知られています。二日目の今日は、その霊峰に登るに相応しい好天となりました。

我々が泊まった白山一里野温泉「岩間山荘」は標高 550m の山中に有りましたが、今夏の酷暑の影響はここでも受けていて、結構寝苦しい夜でした。特に男性部屋は 4 人が寝ている所為もあって+、ブーブーとクーラーがうるさく唸っている割には効きが今ひとつで、少々寝不足気味に朝を迎えました。女性 2 人はさわやかな顔をしていましたので、熟睡出来たのでしょうか。これから登山をする身にとって、この差は大きい！！

全員 4 時前には起床して、登山の準備に入りました。

～Report by 吉松～



当初は大倉尾根に登る予定にしていたが、登山口までの自動車道が崩落で不通となったため、別当出合登山口から登ることにした。そのため岩間山荘出発は少々早く、4 時 45 分には宿を出た。

宿の熊の剥製が見送ってくれた。



5 時 40 分

市ノ瀬駐車場（標高 830m）に到着

マイカーで一杯だ。ハイシーズンには、車はここまでしか入ることが出来ない。別当出合まではシャトルバスが送ってくれる。



20 分間隔で運行されているシャトルバスは超満員。最後尾席に無理矢理おしりをつっこませてもらって、何とか座ることが出来た。



20分ほどバスに揺られて別当出合（標高1260m）に着いた。

そこには、「白山開山1301年」と横断幕が張られた大きな碑が建っていた。いつもは山頂くらいでしか利用しないクマさん旗を引っ張り出して、記念写真を撮った。



6時30分 いざ、出発

別当出合からの登山道は、「砂防新道」と「観光新道」の二道。我々は、「砂防新道」を登り、下山に「観光新道」を通ることにした。



まずは、心静かに鳥居をくぐってから、霊峰に足を踏み入れる。

すぐに長い長い吊り橋が架かっていた。



吊り橋を渡りきって暫くすると急登となるが、登山道は良く整備されていて歩きやすい。

また、砂防新道には水飲み場が何カ所もあるので心強い。



20分ほど登ったところで小休止

水補給と、宿で作ってくれた朝食用の握り飯を、少しずつ頬張った（もっとも男性陣は宿を出る前に、ほとんど食べてしまったのだが・・・）。



二度目の小休止でも握り飯をパクついて、予定していた「中飯場」での朝食タイムは、その時間をとる必要がなくなった。



「中飯場」に近づく頃には、日が大分昇ってきて暑くなってきた。

例によって池戸さんは大汗モードだ。足下の岩に落ちたポタポタ汗の痕跡が目立ち始めた。



「中飯場」に到着。冷たく美味しい水がふんだんに飲めるのが良い。水に頭を突っ込んだ池戸さんは、蛇口に張り付いたままだ。



「中飯場」を7時30分に出発
眼下には砂防工事の跡が良く見えた。



湿度は低いのだが日差しが強く、
兎に角今年の暑さには参る！！



8時

日陰で小休止、暫く涼をとる。



更に登ると、「この先火口域から2 Km 圏内」の標識が現れた。白山はランクこそ低位ではあるが、歴とした活火山だ。



8時30分

整備された木道を歩くことになった。
歩きやすいのだが日陰を作る樹林が少なくなった分だけ、益々日差しが厳しい。



さすがに若い中島さんは元気だ。
写真撮影に余念が無い。



9時、「甚之助避難小屋」に到着。既に大勢の先着の登山客が休憩していた。





ここにも豊かな水場が有り、大休止を取る。
暑さで、池戸さんは大分参ってきたようだ。

「甚の助避難小屋」までの登山道には、沢山の花が咲いていた。



アマニュウ



ソバナ



カマズミ?



シシウド



ハクサンシャジン?



ハンゴンソウ



ハリブキ



ミヤマニガイチゴ



ガクアジサイ



イケマ



センジュガンビ



サンカヨウの実



カニコウモリ



オオカメノキ



キツリフネ



カラマツソウ



ミヤマキンポウゲ



ミソガワソウ



9時20分

「甚の助避難小屋」を出発した。

樹木の背が低くなったきて、日差しはいよいよ厳しくなってきた。
しかし、木が低くなった分だけ見晴らしも良くなってきて、休憩した「甚の助避難小屋」が眼下に見える。
遠くの山々も良く望めるようになってきた。





「黒ボコ岩」へ向かう分岐あたりで休憩。
休みだけは頻繁に取るようにした。
いやはや、姉さんかぶりの岡部さん！確かに
お暑うございますね。 ↓



10時

しっかり休んでから出発。
多少余裕ある歩行時間でスケジュールを組
んでいたため、ほぼオンタイムだ。

分岐を過ぎた辺りから、お花畑に入ったようだ。

登山道脇や傾斜地には色とりどりの花が我々を迎えてくれた。花の写真撮影に、皆さん余念が無い。



またまた、僅かの日陰に涼を求めて休憩。

池戸さんの頭に巻いたタオルからは、汗が
したたり落ちている。



次の目標である「黒ボコ岩」まで、もう一
踏ん張りの所まで来た。



先方の緩斜面を登り切ると「黒ボコ岩」に
到着する。

兎に角、見逃せない花々が多い。

前方に見える石橋辺りには、岩の間から湧
き出ている水場が有るようだ。

一瞬良からぬ予感が・・・・。

予感が的中した！！



池戸さんが、脇目も振らず水場に下りてい
って、梃子でも動かない体制に入った。

兎に角頭を冷やして、身体中のヒートアッ
プをなんとかしなければならぬらしい。

室堂ビジターセンターまでは、ここから小
一時間だ。他の登山客も多いので、道迷い
もない。

ゆっくり身体を冷やして、自分のペースで
登ってくるようお願いした。



取り敢えず、池戸さんと水場で分かれて、
5人は頂きの岩を目指して登る



坂の途中に「霊峰白山延命水」が現れた。

水はチョロチョロとしか流れ出てこないが、冷たく美味しい命の水だ。



10時50分

「黒ボコ岩（2320m）」到着



元気なクマ女2人はご満悦だ。



「黒ボコ岩」に至るまでのお花畑で出会った花々



ウラジロナナカマド



ヨツバヒヨドリ



クモマニガナ



ゴゼンタチバナ



オタカラコウ



シモツケソウ



クルマユリ



ウマノアシガタ



ミヤマシシウド



ハクサントリカブト



シナノオトギリソウ



タテヤマアザミ



ヤマハハコ



ハクサンフウロ



イブキトラノオ



ニッコウキスゲ



ミヤマダイモンジソウ



オタカラコウ



ミヤマアキノキリンソウ



タカネナデシコ



シシウド



5人が「黒ボコ岩」で一息入れて出発しようとして準備を始めた頃、水場で身体のヒートアップを鎮めた池戸さんがゆっくり登ってきた。

池戸さんには岩陰で小休止をしてもらうことにして、我々は一足先に出かけることにした。



「黒ボコ岩」から少し登ると、急に視界が開けてきた。前方には白山の最高峰「御前峰（2702m）」の全貌が青空に映えていた。ここは、「弥陀ヶ原」だ。



雄大な景色を愛でながら、なにやら幸せな気持ちで木道を進んだ。



木道が尽きて少し登ると、室堂ビジターセンターはすぐだ。立ち止まって振り返れば歩いてきた「弥陀ヶ原」の全貌が見渡せた。



11時30分、白山室堂ビジターセンターに到着



宿泊受付は13時からとのことなので、昼食を取ったりして、暫くのんびりすることにした。

日差しは強いが、外気温は16度であった。



センター入り口



広々とした食堂兼休憩所



受付



気温は16度



御前峰を背にして、「白山奥宮祈祷殿」が建っている。



セルフサービスの食堂で昼食
汗で塩分が出てしまった所為が、何故か皆さん、ラーメンをご所望。
生ビールも飲みたかったけれど、これから頂上を目指さないといけないので、ここはグッと我慢我慢。(ですよね、ミチコさん)



やがて、ゆっくり登ってきた池戸さんとも合流。宿泊手続きを済ませて寝場所を確保。

13時20分 御前峰を目指して出発

熊本さんのアドバイスに従って、まず御前峰に直登してから、ゆっくりお池めぐりをすることにした。サブザックだけなので大分身軽になった。

直登の登山道でも高山植物が沢山現れて、あっちで引っかかりこっちで引っかかり、簡単には頂上にはたどり着かない。





山頂まで500mの辺りに広がる「高天ヶ原」



室堂ビジターセンターも良く見えた。



14時07分 白山奥宮に到着
無事登山できたことのお礼をした。



堀さんも池戸さんも少し遅れて登頂。14時20分、全員御前峰（2702m）を踏むことが出来た





御前峰を極めたところで、これからのんびりと2時間ほどかけて、「お池めぐり」をすることにした。

「お池めぐり」の最後あたりで、クロユリに出会えるはずである。

池戸さんは、大汗のためにさすがに疲れたので、直接室堂に下りて、一休みしていることになった。



岩場を下って「お池めぐり」向かう。





最初に向かっているのは、「油ヶ池（左）」
と「紺屋ヶ池（右）」



「紺屋ヶ池」に残る雪をほおぼり、涼を
求める。



^{みどり}
「翠ヶ池」



「^{みどり}翠ヶ池」に左先には大汝峰（^{おおなんじみね}2684
m）がそびえている。中腹に残る雪渓には、
自然に出来た不思議なハートのマークが見
えた。





先行していた岡部さんと吉松は、巡り初めて一時間ほどで「血ノ池」に到着。後に続く3人は、撮影に忙しく中々やってこない。皆を待って、折角担いで持ってきた赤ワインを、「血ノ池」のほとりで飲むことにした。



池戸さんも含め全員で御前峰に登れたことに感謝して、乾杯！！

背中の背負って大分温かくなっていた赤ワインではあったが、結構乙な味で有りました。



小さな「五色池」「百姓池」を右手に見ながら、7つの池めぐり最後の「千蛇ヶ池」に到着。

「千蛇ヶ池」は未だ雪をしっかりとかぶっていた。

「お池めぐり」のコースも花の宝庫。我々以外には巡っている登山客がいなかったもので、ここはと思ったお花畑では誰に遠慮もすることなく、自分の世界に浸っていた。





ミヤマキンバイ？



白いイワギキョウ



オノエイトドリ



枯れたチングルマ



ミヤマリンドウ



ハクサンコザクラ&ミヤマキンバイ



コイワカガミ



花の終わりにかけたチングルマ



ハクサンコザクラの群落



ミヤマダイモンジソウ



ミヤマアキノキリンソウ



コバイケイソウ

名カメラマン中島さんのグッドショットをどうぞ（ミチココーナー）。





16時過ぎ、室堂ビジターセンターが見えてきた。

岡部さんの話では、ここら辺りからクロユリの宝庫である。こんな沢山のクロユリを見ることが出来たのは初めてである。



16時30分

2時間のお池めぐりを終えて、室堂に戻ってきた。



部屋で一休みをしていた池戸さんとも合流して、待ちに待った生ビールで乾杯！
何故か塩のきいたお新香が、つまみとして絶品でした。

我々は、そのまま夕食を取ることにした。



メインディッシュとして魚かハンバーグかを選ぶ夕食。食後のデザートも付いた、結構な内容でした。

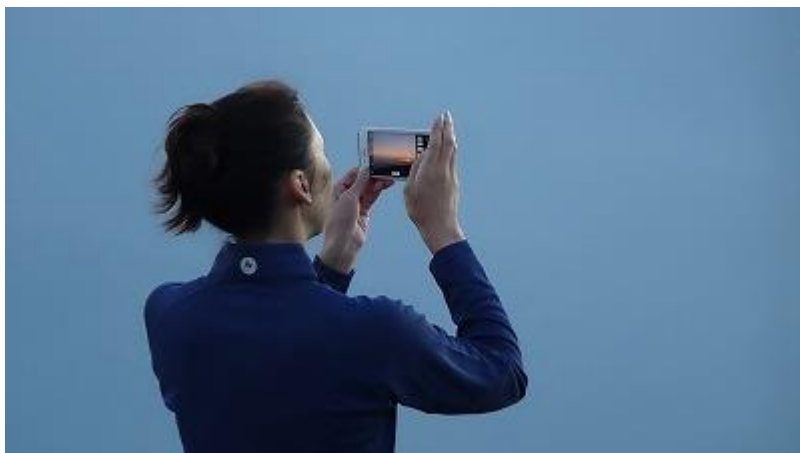


食事を終えて部屋に移動し、着替えやら荷物整理を行った。

お疲れの池戸さんはそのままお休み。

堀さん、根岸さん、吉松の3人は、根岸さん持参のウィスキーをチビチビ。

若い中島さんはそのままジッととはしているはずがなかった。



(夜7時頃部屋を抜け出して)

見てください、
中島さんのこの美しい姿を！

(堀さんは、一瞬どちらの女優さんだろうかと思ったとか……。その時カメラがとらえた写真2枚を篤とご覧あれ ↓)



何よりも天気恵まれて、山も花々も堪能しました。大汗かきの池戸さんも、「お池めぐり」こそ参加できなかったものの、御前峰まで登頂して参加者全員の集合写真を撮ることが出来ました。

白山は、登山道もビジターセンターも良く整備されていました。そのこともあってか、小さな子ども達が大勢登ってきていることに驚きでした。他の山では経験したことがない風景でした。

明日も午前中までは天気の大きな崩れは無さそうです。観光新道をゆっくり下山することにします。